



Title	城東保健所に輝く保健文化賞 : 老人に関する総合保健活動の推進で
Author(s)	
Citation	大阪公衆衛生. 1970, 25, p. 47-47
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/84337">https://hdl.handle.net/11094/84337</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# 城東保健所に輝く保健文化賞

—老人に関する総合保健活動の推進で—

第22回保健文化賞贈呈式はさる9月24日、東京の第一生命ホールで行なわれたが、保健衛生を実際に著しく向上させた団体として大阪市城東保健所が栄えの受賞の栄をえた。これは城東保健所が老人に関する総合的保健活動の推進に大きく貢献し、成果をあげたことをたたえるものである。

なお、受賞代表者として城東保健所所長は、贈呈式の翌日9月25日に宮中に参内、天皇、皇后両陛下よりお言葉をいただいた。

城東保健所の老人に関する総合活動は昭和38年から行なわれ、都市老人の実態把握、老人管理システムの確立、保健所付属老人福祉センターの設立運営、市立

城東老人福祉センターへの発展といったかたちで作業を展開、問題点の発見とそれへの対処をしてきたものである。



新刊！



本書は5項目36編にわたって、いのちの不思議をたずねながら、くらしを、人類を科学的・生物学的・医学的に探究した好著。

梅田敏郎著 B6判 290頁 定価 630円 (〒70)

## 自然と人と

— ライフ・サイエンス物語 —

なにが不思議だといって生命ほどの不思議はない。科学が進めば進むほど、この不思議は、ますます広がり、深まっていく。

また一方では、科学の進歩は、これまでの常識をくつがえしもする。不思議の世界から、無限の驚きが生まれてくる。

そして、猛獣中の猛獣であるヒトは、いまや、自分たちが立っている地球を破壊するのに懸命である。

自然と人と、そして生命は、ヒトが真剣に考えなければならない緊急のことである。ヒトは本当に生き残ることができるだろうか。

—主な内容項目—

●ヒト 自然破壊、気違い薬、もの忘れ、夢、人の口、齢をはかる、宇宙のいのち他 ●けもの 渡り、光る生物他 ●むし 話す、いざなう、高温生物学他 ●水の中 カメ、イカとタコ、カエル他 ●植物 ホルモン、ウイルスなし他

☆書店にお申込下さい☆

発行所 株式会社 世界保健通信社 大阪市東区高麗橋詰町61 電話 (202) 2331 振替口座 22095